

自分も人も大切に 道標ない旅

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



◆◆ 新型コロナウイルス感染症に罹患した者の療養期間の変更について ◆◆

新型コロナウイルス感染症に罹患した者の療養期間の見直しについて、文部科学省からの事務連絡はまだ届いておりませんが、文部科学省及び県健康医療局に確認し、罹患した者の療養期間の見直しを9月7日から適用するとの町教育委員会からの連絡がありました。その内容を以下に紹介します。本校でもこの基準に変更いたします。ちょうど変更期間にあたり、判断が分からない方は、学校へお電話ください。

《有症状者》

- ・発症日を0日目として、発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合には8日目から解除を可能とする。
- ・ただし、10日間が経過するまでは、感染リスクが残存することから、検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。

《無症状者》

- ・検体採取日(0日目)から7日間を経過した場合には8日目に療養解除を可能とする(従来から変更なし)。
- ・加えて、5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後(6日目)に解除を可能とする。ただし、7日間が経過するまでは、感染リスクが残存することから、検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。

◆◆ 修学旅行・キャンプ説明会へのご参加ありがとうございました。 ◆◆

6学年・5年生保護者の皆様に、修学旅行及びキャンプ説明会を実施させて頂きました。その中でもお伝えしましたが、実施当日までの健康維持が大切です。この夏、我が家では、預かった孫と、私の妻が発症しましたが、スプレーを持ち歩きながら、触ったところのアルコール消毒と、マスクの徹底、食事の分離等を通して、ついに私自身は感染を免れました。中学校では学級閉鎖との報告もありますが、感染防止に努めて、修学旅行やキャンプに参加できるよう努めましょう。気をつけることでリスクの軽減は出来ます。「自分も人も大切に 思いやり チャレンジ しなやかな心」で、協力し合って、出発前の学年への感染拡大は食い止めていきたいものです。

◆◆ かながわシェイクアウト(防災行動訓練)を実施しました。 ◆◆

9月1日は、防災の日です。1923年(大正12年)9月1日(土)に発生した関東大震災にちなんだもので、関東大震災の教訓を忘れない、という意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて制定されました。1日遅れの9月2日、どんな場所にいたとしても、本震を無事にやり過ごすために、本校でも、「頭を低く DROP、頭を守り COVER、動かない HOLD ON」という安全確保行動がとれるよう訓練しました。緊急地震速報が流れた後、約1分間、地震効果音(騒音)に耐えながら、机が凶器にならないようしっかり押さえながら耐える練習でしたが、みんな真面目に取り組んでくれました。こういった安全確保行動が、自然と出来るようになっていって欲しいなと願います。



皆様は、夏休み前に配った防災備蓄食の「おかゆ」は活用されましたか?どの瞬間に大地震に襲われるのか分かりませんが、普段からの事前の準備や、いざというときの心の準備が出来ていくといいなと感じています。

◆◆ おなじ9月2日、下校時刻の変更措置をとらせて頂きました。ご協力に感謝申し上げます。 ◆◆

同日10時頃、「下校時刻11時50分頃から1時間程度にわたって、雨雲レーダーで真っ赤な状態が長柄地区に予想されている」ことに気がつきました。すぐに、「その状態の前に下校を完了」するか、「児童の下校を遅らせるか」の判断が必要となりました。急遽職員集合を行い、「10時45分以下校措置をとり、最悪の状況を回避する」ことが決定しました。すぐに皆様へのメールを送り、町教委や5校への連絡を行いました。結果的には危険と思われるエリアが横にずれ、事前に予想されたほどの状況にはなりませんでした。各ご家庭のご協力ご理解のもと、見守り活動の教師も、11時30分頃には戻ってきて、安全な下校を完了することが出来ました。予想通りのコースと時間で雨雲が押し寄せてきたとしても、児童をなるべく安全な状態で下校できたと感じております。急な判断ではありましたが、ご理解ご協力が得られて対応できましたことを心より感謝申し上げます。

◆◆ 第3回南郷中・長柄小合同運営協議会（コミュニティ・スクール）が南郷中で開催されました。 ◆◆

(1) 長柄小学校・南郷中学校の近況報告がありました。

<長柄小学校>

- ・放課後サポート教室応募状況報告 応募数 54名
安定した開催が実施できている。
- ・全国学力学習状況調査結果を別紙で報告
- ・将来を見据えた長柄小学校教室割り構想（素案）を委員の皆様を紹介。
トイレ改修を進めるねらい。
- ・学校だよりでお伝えした教職員の新体制について説明
- ・同じく、施設の改善について、旧焼き窯庫を撤去し、体育館脇に新防災倉庫
を2つ新設し、倉庫の中身を移動して、駐車場の防災倉庫は撤去した。この一連の作業で、長柄小学校の
懸案事項である駐車場不足問題においても、改善が図られたことを報告。
- ・コロナ対応での授業、行事の見通しを説明。行事は昨年度と同様の対策で、基本実施。土曜参観は難しそ
う。昨年と同様の10分程度の動画配信に切り替える方向で検討。



<南郷中学校>

- ・コロナ禍ではあったが、選手・先生方の努力下、陸上部から全国大会出場選手1名、バスケットボール部
男子は、県中総体ベスト8、卓球男子個人で、県中総体出場 夏の大会を棄権しなければならなかった3
年生はいなかった。
- ・9月23日（金）の文化祭は、合唱で3年生と他学年が交流。文化部発表や英語レシテーションコンテス
ト、国語科3年生意見文発表実施。保護者の参加はなし。オンライン形式を取り入れて安全に実施。
- ・10月22日（土）の土曜参観は、20日奇数、21日偶数の方の参観日とし、22日マラソン大会は参
観可能とする。3日間に分けた形式で実施予定。
- ・職場体験は実施する方向で協力頂ける事業所を募集中。
- ・コロナ対策は出来ることは実施していく。不調者が出たとき登校を控えてくださる家庭が多く、支えられ
ている。

(2) 南郷中学校生徒会の皆さんの活動報告を伺いました。

- ・コロナ禍においても、学校を引っ張ってくれた3年生（卒業生）に対し、1・2年生が贈った制作ビデオ
を視聴し、南郷中生徒のアイディアと敬愛の念に満ちた作品に、もらい泣きする委員もいらっしゃいま
した。動画を含め、とても良いプレゼンでした。

(3) 小中一貫教育を見据えた、南郷中職員の「総合的な学習の時間」指導計画案の説明を伺いました。

- ・今年度実施予定の職場体験に向けて、探究課題として、「葉山町で働く人たちの仕事に対する姿勢や思い」
について、深めていこうという構想のものです。従来の体験だけで終わりがちだった職場体験に、探究課
題を設定し、総合的な学習の時間自体が何なのかを、職員間でも共有したいという思いが伝わってきま
した。コミスク側の役割もあるなど、学校との協力体制作りを強めていきたいとの意見がありました。

(4) 南郷中・長柄小合同運営協議会（コミスク）のHP設置への準備が始まりました。

- ・HP準備委員が4名選出され、コミュニティ・スクールの準備が始まりました。
- ・やがて設置されることになる葉山地区側も同様に開設できるようなものを目指して、今年度中の開設が
出来るようにという開設目標が承認されました。コミュニティ・スクールがより身近なものとなるよう
なきっかけになるよう頑張ります。

※今回の運営協議会には、葉山小学校長、一色小学校長、元一色小PTA会長の3名の見学がありました。そ
の方々の感想を紹介します。

- ・小中合同のコミスクの良さを感じた。今日の生徒会のプレゼンが非常に良かった。大人の意見で決まりが
ちなコミュニティ・スクールの中に、生徒たちの意見が反映される可能性を強く感じさせて頂いた。
- ・なんとなく堅いイメージだったコミスクが、実際に見させて頂くと、笑いあり涙ありの楽しそうな会の中
から、必要なことが決められていく雰囲気がとても良かった。
- ・近いうちには、一色小（葉山地区）でも開設されるコミスク。自分たちには何ができるのだろう、保護者
には何が、地域では何ができるのだろうと考える中で、今日の見学は参考になった。こちら側に相談させ
て頂くこともあると思うので、今後も宜しくお願い申し上げます。

◆◆ 比較的涼しい日々が続いていますが、熱中症対策もあり、登下校時のマスクは不要です。 ◆◆

マスクが癖になっているこの頃ですが、登下校や、屋外での活動でのマスクは現在励行していません。マス
クのない生活を少しでも取り戻して欲しいと思います。ただし、抗原検査陰性等であっても、咳症状のある児童
は、登校を控えるか、屋内でのマスク着用を守って頂きます。加えて、兄弟姉妹が検査を受けているにもかかわ
らず、登校してくる児童も散見されますが、検査結果が出るまでは自重頂くようご協力お願い申し上げます。